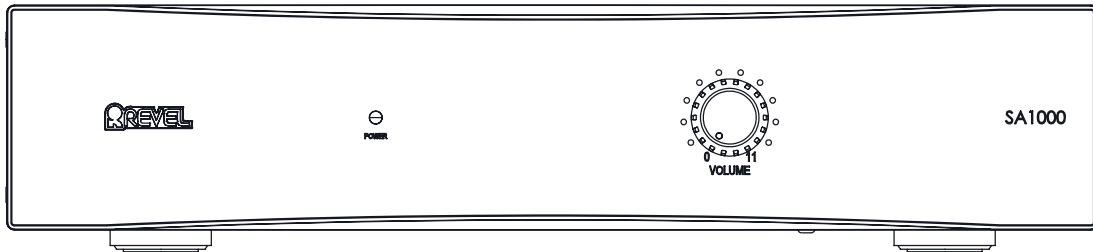


REVEL®

SA1000サブウーファー・アンプ 取扱説明書



重要な安全上の指示

1. 説明書を読む。
2. 手順を守る。
3. 全ての警告に留意する。
4. 全ての指示に従う。
5. 水の近くでこの装置を使用しない。
6. 乾いた布のみで手入れをする。
7. 通気開口部をふさがない。メーカーの説明書に従って設置する。
8. ラジエーター、ヒートレジスター、ストーブまたは発熱する他の装置(アンプを含む)などの熱源の近くに設置しない。
9. 極性プラグまたは接地タイププラグの安全基準を守る。極性プラグには2つのブレードがあり、片方がもう一方よりも広い。接地タイププラグには2つのブレードがあり、3番目のアースが分岐している。広いブレードまたは3番目のピンは安全のために取り付けられている。付属のプラグがコンセントに適合しない場合は、電気工に相談して旧式のコンセントを交換する。
10. 電源コードの上を歩いたり、挟んだりしない(特にプラグ、コンセントおよび機器から出ている部分)ように保護する。
11. メーカーによって指定された付属品のみを使用する。
12. メーカーによって指定された、または装置に同梱されているカート、スタンド、三脚、ブラケットまたはテーブルのみを使用する。カートを使用する場合、転倒によるけがを避けるためにカートに載せて装置を移動する際には注意する。
13. 雷雨の間、または長期間使用しない場合はこの装置のプラグを抜く。
14. 資格のあるサービス提供者に全ての修理を任せる。電源コードまたはプラグが破損した、装置に液体がこぼれたまたは物が落ちた、または装置が雨または湿気にさらされて正常に作動しない、または装置を落としたというように、装置が何らかの形で破損した場合、修理が必要である。
15. この装置を水滴または水しぶきに当てないようにして、花びんのように液体でいっぱいのお物を装置の上に置いていないことを確認する。
16. 電源プラグは機器の電源を切る装置として使用し、いつでも操作できる状態にしておく。
17. 警告: 装置は保安用アース接続と共に電源ソケットコンセントに接続されているものとします。



矢印の雷鳴記号の付いた正三角形内は、人への電気ショックの危険がある、製品エンクロージャー内の絶縁されていない「危険電圧」の存在をユーザーに警告するためのものです。

警告: エンクロージャー内部にはユーザーが修理可能な部品はないので、電気ショックのリスクを減らすため、カバー(または背面)を取り外さないでください。資格のある人物に修理を任せてください。



感嘆符の付いた正三角形内は、製品に付属している資料内での重要な操作およびメンテナンス(修理)上の指示の存在をユーザーに警告するためのものです。

警告: 火災または電気ショックのリスクを減らすため、この装置を雨または湿気にさらさないこと。操作温度35°C。

目次

Revel®(レベル)について	2
Revel®(レベル) SA1000サブウーファー・アンプ	3
製品の特長	3
同梱品	3
開封	3
フロントパネル・レイアウト	3
リアパネル・レイアウト	4
接続	4
イコライゼーション	4
設置	5
冷却の必要性	5
接続アンプ	5
構成/配線	6
トラブルシューティング	7
仕様	7
保証書	8

新しいREVEL®SA1000サブウーファー・アンプをお買い上げいただき、ありがとうございます。

アンプのパフォーマンスとサブウーファー・システムの構成を最適化するため、以下の設置と設定情報をお読みください。

REVEL®(レベル)について

1996年から、REVEL®はラウドスピーカー設計とパフォーマンスの最先端を走り続けてきました。Harman International(ハーマン・インターナショナル)の世界をリードする研究と設計設備に支えられて、REVEL®ラウドスピーカーは以下のような最先端のリソースの恩恵を受けています:

- 大規模な複数の無響室により、精密なテストと測定が可能。
- ダブルブラインドで、独立した位置づけのリスニングテストを行うためのマルチチャンネルリスニング研究所。
- レーザー干渉計により、詳細なドライバーとキャビネット分析が可能。
- 最先端のラウドスピーカー・モデリングを利用した有限要素解析。
- ステレオ・リソグラフィ装置が、細工されたパーツを素早く製作。

REVEL®(レベル) SA1000サブウーファー・アンプについて

SA1000サブウーファー・アンプはREVEL®アーキテクチュアル・サブウーファーと共に使用するために特別に設計された高能率クラスDアンプです。REVEL®アーキテクチュアル・サブウーファーの最高のエネルギーと周波数特性を実現するように最適化されていて、高リアクティブ負荷インピーダンスでも駆動するように特別に設計されています。

注:EQとヘッドルーム管理は、REVEL®(レベル)アーキテクチュアル・サブウーファーのために特別に設計されてきました! SA1000と他のサブウーファーと一緒に使用すると、サブウーファーまたはSA1000アンプに損傷を与える可能性があります。SA1000アンプと共に安全に使用できるモデルの最新リストを手に入れるには、販売店にご連絡いただくか、www.revelspeakers.comにアクセスしてください。

製品の特長

- 広いダイナミックレンジ
- 低歪みと低ノイズ
- 2つのEQモード(インウォールおよびインシーリング・サブウーファー向けにカスタマイズされた)
- ユーザー調整が可能なシングルバンドPEQ(ルーム・イコライゼーション)
- 自動で電源がオン(信号を検出した場合)になり、信号が検出されない場合は10分後に電源オフ
- ショートと過電流からの保護
- 過熱の補正
- REVEL®あたりアーキテクチュアル・インウォールまたはインシーリング・サブウーファーに簡単に設置・接続するための2本のデュアルバナナ出力コネクタ(あたりアンプ1基につき最大2つのサブウーファー・モジュール)

同梱品

- SA1000サブウーファー・アンプx1
- ラックマウント・ブラケットx2
- ラックマウント・ブラケット取り付け用ねじx4
- SA1000取扱説明書x1
- 電源コードx1

開封

アンプと付属品を慎重に取り出します。運送中の損傷がある場合は、ただちに販売店および/または配送サービスにご報告ください。後で使用できるように、発送用のダンボールおよびこん包材を保管してください。

警告:アンプの設定を始める前に、この説明書の始めに記載されている重要な安全上の指示を必ず読み、順守してください。

フロントパネル・レイアウト

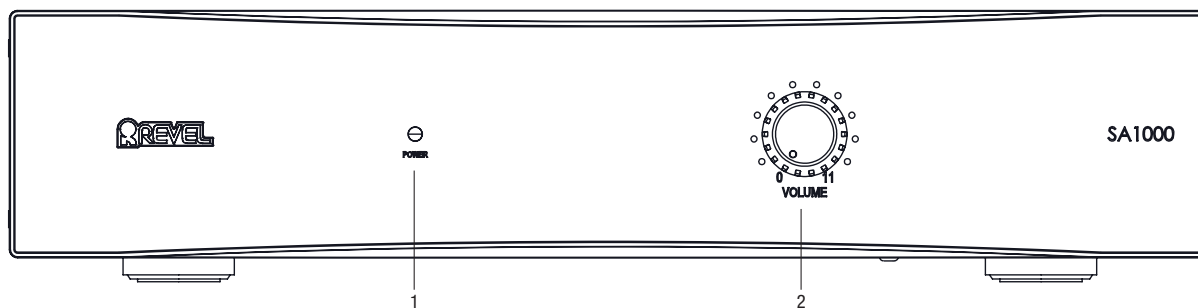


図1:フロントパネル コントロールおよびインジケータ

1.電源用LED

電源インジケータLEDではSA1000アンプの現在の状態を確認できます。アンプの電源状態は3種類あります:

- レッド: スタンバイ-10分間システムからの信号が検知されない場合、SA1000は自動的にスタンバイモードに入ります。
- グリーン: オン-「オン」状態になるか、または信号が検出された場合、SA1000の電源が入ります。
- ライトが消灯: オフ-AC主電源スイッチがオフポジションまたはSA1000のプラグが外されています。

2.ボリューム・コントロール

アンプのボリュームレベルを調節します。



リアパネル・レイアウト

このセクションの番号のついた項目に対応する図2の番号

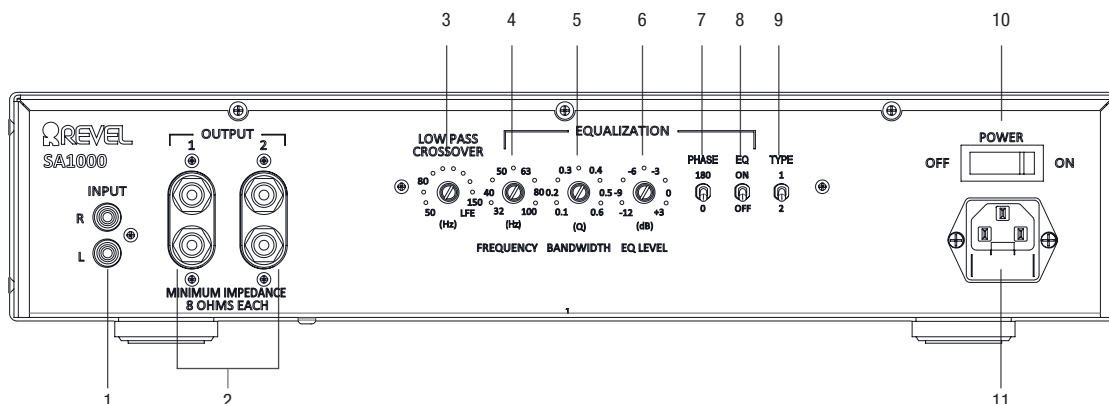


図2:リアパネル・コントロールおよびコネクタ

図2のように、SA1000アンプのリアパネルには以下のコネクタとコントロールが含まれます:

接続

1.入力

入力はRCAラインレベル入力ジャックを通して行い、これらのコネクタにブリアンプ、レシーバー、サラウンド・プロセッサの出力端子を接続します。シングルLFE出力に接続している場合は、どちらかのジャックにその出力を接続することができます。サブウーファー/アンプシステムからさらに出力音圧レベルが必要な場合は、LFE信号リード線をYアダプタに接続し、各ジャックに出力を1つずつ接続します。

2.出力

5ウェイ・バイディング・ポスト端子付きの2セットの出力端子接続が備えられています。各バイディング・ポストには標準的な4mmバナナコネクタ、クリンプ端子、ピン、ポストナット・カバーの下部のポスト穴を通した撚り裸線、および金属ポストの周りに撚り裸線を巻き付けて接続できます。各出力の最低インピーダンスは8Ωです(B28WまたはB28C)。

要注意: SA1000はブリッジ接続構成で使用するには設計されていません。

3.ローパス・クロスオーバー

可変式50Hz~150Hzローパス・クロスオーバーはSA1000がメインスピーカーと調和する周波数を決定します。

注: このコントロールはシステムのメインスピーカーの周波数帯域に限定されません。ローパス・クロスオーバー・コントロールを調整して正しくサテライト・スピーカーに調和させます。調和が正確である場合、楽器の音色やクロスオーバー領域の声が正しいレベルで聞こえます。サブウーファー周波数やサテライト周波数と比較して大きすぎたり、ソフトすぎることはありません。コントロールを「LFE」に変えた場合、クロスオーバーはバイパスモードになり、全てのクロスオーバー設定はプロセッサまたはAVRで設定します。

イコライゼーション

イコライゼーション・コントロールは、特定のリスニングルーム内のリスニング位置にアンプのレスポンスを合わせます。図3にあるように、パラメトリック・イコライザーには周波数、帯域幅(または「Q」)、EQの1バンドのEQレベル調整を行う可変コントロールが含まれます。これらのコントロールを使用するには、まずEQスイッチを「オン」にセットする必要があります。

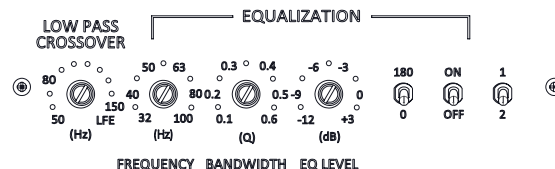


図3: リアパネル・イコライゼーション・コントロール

注: イコライゼーション・コントロールを適切に調節するには、特別な測定装置が必要です。Revel®公認販売店は、確実に最適な結果を出す適格な装置を使用して、適切な測定をすることができます。

4.EQ周波数コントロール

この調整により、特定の問題領域の中央周波数を選択することができます。レンジは32Hz~100Hzです。

5.EQ帯域幅コントロール

イコライザーが有効になる周波数レンジを設定します。レンジは0.1~0.6オクターブです。

6.EQレベル・コントロール

EQ周波数コントロールにより、ブーストまたはカットが選択された周波数にどの程度適用されるかを調整することが可能です。このコントロールは-12dBから最大で+3dBまで調整できます。

7.位相スイッチ

フロントスピーカーに対するサブウーファー出力の位相を調整します。適切な位相調整はインウォール・サブウーファーの設置位置やリスナーのポジションといった可変要素によっても決まることがあります。このスイッチは基本的なリスニング位置での中低域の最大出力を設定します。

8.EQオン/オフスイッチ

パラメトリックEQコントロールの使用可能/使用不可(周波数、帯域幅、EQレベル、位相はコントロールできません)。

9.「12」、またはサブウーファー・タイプ・スイッチ

工場出荷時にあらかじめプログラムされたサブウーファータイプ設定の選択:

- タイプ1設定ではRevel® B28Cと共に使用することを選択
- タイプ2設定ではRevel® B28Wと共に使用することを選択

10.AC主電源スイッチ

AC入力コードから電源を接続、または接続を切ります。断続的に使用する間は、電源スイッチはオンのままにしておくことができます。長期間使用しない場合は電源スイッチをオフにすることをお勧めします。

11.電源コードコネクタ

付属の電源コードをこのコネクタと壁に設置されたACコンセントに差し込みます。SA1000の電流ドロワーのため、この製品に電力を供給するのに、いかなるオーディオ/ビデオ機器に付属した差し込み口も絶対に使用しないでください。

電源コードコネクタには、差し込み口の下側に位置するヒューズトレイが含まれます。ヒューズを利用する必要がある場合は、常にAC電源/コンセントとユニットとの接続を切ります。同じタイプで、指定された電圧と定格電流のヒューズと交換します。

100~120VACモデル: 10AH、250V

230~240VACモデル: 5AH、250V

設置

警告: 設置する前に、アンプの電源が未接続で、全てのレベル・コントロールが一番低い設定(反時計回り)になっていることをご確認ください。

電源が適切にRevel® SA1000アンプに適正なAC主電圧と電流を供給していることをご確認ください。必ず、アンプの作動電圧を使用可能なAC主電圧と合わせてください。

SA1000をお持ちのキャビネット/ラックシステムに設置するには、以下の手順に従ってください:

- 設置に使用できる/または必要な場合は、同梱のねじを使用してアンプのフロントの各側面にラックマウント・ブラケットを取り付けます。図4をご参照ください
- ラックマウント・ブラケットを通し、ラック用取り付けねじを使用してキャビネットにSA1000を設置します。キャビネットへの設置の詳細については、お持ちのキャビネットのユーザーガイドをご参照ください。

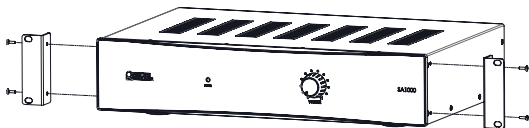


図4

冷却の必要性

新しいRevel® SA1000アンプは適切な設置により、Revel®アーキテクチャル・サブウーファー(B28Wインウォール・サブウーファーまたはB28Cインシーリング・サブウーファーのどちらか)の連続使用向けに設計されています。

Revel® SA1000アンプは熱保護回路を搭載して、過熱しすぎた場合にアンプの電源を切ります。熱に関して問題がある場合、負荷インピーダンス、空気の流れ、周囲の温度を含むいくつかの要因が原因である可能性があります。

熱に関するインピーダンスを避けるには、推奨されるREVEL®アーキテクチャル・サブウーファー以外の用途にサブウーファーを絶対に使用しないでください。

空気の流れの制約が別の問題要因である可能性があります。自然の対流により、常にユニットの周囲に十分に空気が流れるようにアンプを設置します。SA1000は一般的な設計のラック取り付け環境で十分に機能します。機器の下部が熱くなって周囲の温度を上げるので、設置位置が適切かどうか試さなければならないことがあります。熱が循環している場合は、機器をラックの下部に移動させなければならないこともあります。

室温が高ければ、低い室温よりも限界温度に近い状態でSA1000を作動させることになるので、周囲の温度も問題要因の1つになる可能性があります。部屋が過度に暑い場合は、部屋の温度を下げるか、もっと涼しい時間にアンプ/サブウーファーを使用してください。

接続/アンプ

警告: 全てのシステム・コンポーネントの電源がオフにならない限り、絶対に接続したり、接続を切らないでください。

2チャンネル・アプリケーション・メインの出力に接続する

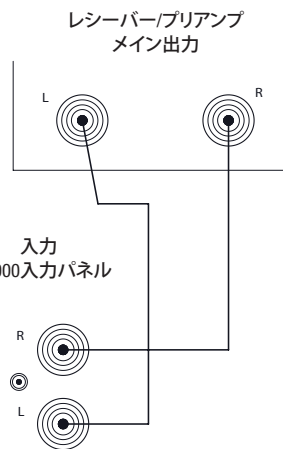


図5

メイン出力への接続

- 図5にあるように、SA1000リアパネル上の各入力コネクタにレーザー/プリアンプの左右のメイン出力をデュアルチャンネルRCA/パッチケーブルで接続してください。

注:この構成は、2組のメイン出力がある、プリアンプ出力付のレーザーまたはプリアンプ/サブウーファーアンプの構成に適用されます。レーザーにプリまたはメイン出力からアンプイン・コネクタまでジャンパーがついている場合、またはプリアンプにメイン出力コネクタが1組しかない場合は、Yアダプターはメインパワーアンプとサブウーファーの両方に同じ信号を送るために使用します。テープ出力またはレコード出力コネクタは使用できません。

構成/配線

シングルサブ接続(B28Wの場合を图示)

警告: 全てのシステム・コンポーネントの電源がオフにならない限り、絶対に接続したり、接続を切らないでください。

SA1000へのラインレベル接続オプション:

- SA1000アンプのLおよびR入力にレシーバープロセッサの左右メイン出力を1組のRCAケーブルで接続
- レシーバープロセッサのサブウーファー出力をLまたはR入力のどちらかに接続

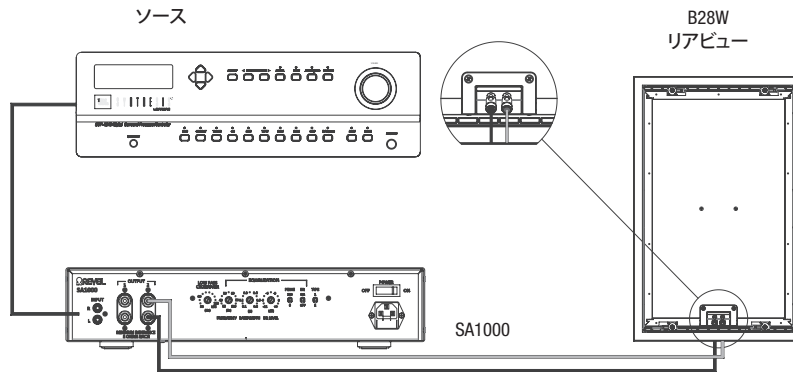


図6

重要: B28Wインウォール・サブの場合はEQ2を選択。B28Cインシーリングの場合はEQ1を選択。

デュアルサブ接続(B28Wの場合を表示)

警告: 全てのシステム・コンポーネントの電源がオフにならない限り、絶対に接続したり、接続を切らないでください。

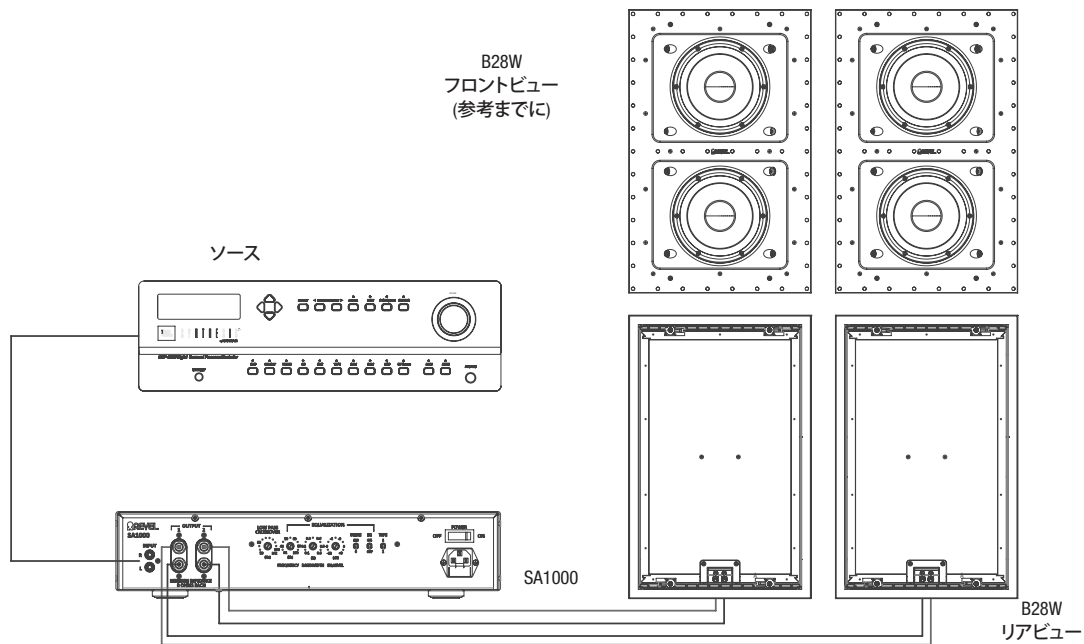


図7

重要: B28Wインウォール・サブの場合はEQ2を選択。B28Cインシーリングの場合はEQ1を選択。

トラブルシューティング

状態

フロントLEDがオンにならない

考えられる理由

- アンプの電源が入らない:アンプが電源コンセントに接続されていない。電源コードが電気が来ているAC電源コンセントに差し込まれていることを確認してください。
- アンプの電源が入らない:AC主電源スイッチがオフにセットされている。主電源スイッチがオンにセットされていることを確認してください。
- アンプの電源が入らない:電源ヒューズが飛んでいる。

重要!

AC電源ヒューズセクションを確認する前に、必ずAC電源とユニットとの接続を切ってください。AC電源ヒューズは通常、故障しない限り飛ばないことになっています。ヒューズは、最初から同梱されている指定されたヒューズと同一のタイプと定格のものに交換する必要があります。ヒューズを交換して短期間に再度飛んだ場合は、直ちに全電源を外し、販売店のサービス係にご連絡ください。

LEDがグリーンだが、サウンドが聞こえないか、低出力サウンドレベルである

- 入力信号が表示されないか、極度の低入力レベルである。プリアンプまたはプロセッサでサブウーファーレベル設定を確認してください。
- ボリューム・コントロールが最小設定になっている:SA1000のフロントに取り付けられたボリューム・コントロールを時計回りに回してください。
- クロスオーバー・コントロールの設定が低すぎる:クロスオーバー・コントロールを時計回りに回してクロスオーバー周波数を上げてください。

断続的な作動(フロントパネルLEDがグリーンからレッドに変わっている)

- 出力配線がショートしている:ラウドスピーカー・ケーブルがショートしているかどうかを確認してください。
- アンプが熱保護状態にある:この説明書の「冷却の必要性」セクションをご参照ください。通気が制限されている、および/または周囲が高温であるかどうかをお確かめください。

仕様

説明

仕様

4Ωの最低インピーダンスでの定格出力電力(RMS)	700ワット
ピーク出力	1500W
定格インピーダンス	スピーカー出力につき8Ω
最小負荷インピーダンス	4Ω
特定モデルのEQ	1:Revel B28C用のみ; 2:Revel B28W用のみ
1Wまでの入力音圧レベル@50Hz	16.3mVrms +/-1dB(シングル入力駆動) ゲイン=41.7dB
過負荷入力(デュアル入力駆動)	2.0Vrms以上
入力インピーダンス	10KΩ超
ローパス・クロスオーバーレンジ	50~150Hz
オート・ターンオン入力音圧レベル@50Hz	標準10mV
1WでのTHD+N	0.3%未満
定格出力電力でのTHD+N	1%未満
1WまでのS/N比	65dB未滿
最低AC電源所用電力	100-120VAC-50-60Hzモデル:700W、5A 230VAC-50-60Hzモデル:700W、3A
電力消費量(スタンバイ時)	0.5W
高さ	3.50インチ(88.90mm)
幅	17インチ(431.8mm)
奥行	11.04インチ(280.3mm)
重量	14ポンド(6.35Kg)

特徴、仕様および外観は、予告なしに変更されることがあります。



LIMITED WARRANTY

Revel loudspeakers are warranted against defects. The duration of a warranty depends on the laws in the country in which it was purchased. Your local Revel retailer can help you determine the duration and coverage of your warranty.

For more information please visit: REVELSPEAKERS.COM

Please visit REVELSPEAKERS.COM for additional language support on the user manual.

Veillez visiter REVELSPEAKERS.COM pour obtenir le mode d'emploi en d'autres langues.

Para obter o manual do usuário em outros idiomas, acesse REVELSPEAKERS.COM

Ga naar REVELSPEAKERS.COM voor de handleiding in andere talen.

Gå til REVELSPEAKERS.COM for bruksanvisning på flere språk.

Если вам требуется дополнительные версии руководства пользователя на других языках, посетите сайт REVELSPEAKERS.COM.

別の言語に対応したユーザーマニュアルを読むには、REVELSPEAKERS.COMにアクセスしてください。

사용자 설명서에 대한 추가 언어 지원은 REVELSPEAKERS.COM에서 확인하십시오

请访问 REVELSPEAKERS.COM 以获取其他语言版本的用户手册。

Visita REVELSPEAKERS.COM para obtener el manual de usuario de soporte en idiomas adicionales.

Weitere Sprachfassungen der Bedienungsanleitung findest Du unter REVELSPEAKERS.COM.

Si prega di visitare REVELSPEAKERS.COM per i manuali di istruzioni in altre lingue.

Jos tarvitset ylimääräistä kieleen liittyvää tukea käyttöohjeesta, käy osoitteessa REVELSPEAKERS.COM.

Gå ind på REVELSPEAKERS.COM for at se betjeningsvejledningen på flere sprog.

Gå till REVELSPEAKERS.COM för mer information om språk i användarmanualen.

商標名:	Revel
商品の用途:	受動的音響システム
メーカー:	ハーマン インターナショナル インダストリアル インコーポレイテッド, USA, 06901 コネチカット州, スタムフォード, アトランティック ストリート 400, オフィス 1500
原産国:	中国
ロシアへのインポート:	ООО Внешторг-Юг, Россия, 171640, Тверская область, г.Кашин, ул. Карла Маркса, д.57А
保証期間:	1 年
サービスセンターの連絡先:	http://absolut-audio.ru/Servis/ 電話: +7 (495) 995-10-80
サービス期間:	5 年
適合性文書の番号:	この商品は強制認証を必要としません
製造日:	製品の製造日によって決定されます。二文字の記号から成るシリアル番号の第二文字は、 以下の記号の後に区別符「-」を付したコードに対応します。コードは ラテン文字のアルファベット順で、2010年1月1日より開始されます: 000000-MY0000000, 其中「M」は製造月 (A - 1月, B - 2月, C - 3月, ...) および「Y」は製造年 (A - 2010, B - 2011, C - 2012, ...)

有害物質の名称と含有率

部品名	対象部品	有害物質または元素					
		鉛 (Pb)	汞 (Hg)	カドミウム (Cd)	六価クロム (Cr(VI))	多溴化ポリブレン (PBB)	多溴化ポリジブレン (PBDE)
印刷基板	印刷基板、基板に搭載された電子部品 (特定の電子部品を除く)、内部接続線	X	0	0	0	0	0
筐体	筐体、前面板、背面板	X	0	0	0	0	0
特定の電子部品	変圧器、ヒューズ、大型電解コンデンサ、電源プラグ	X	0	0	0	0	0
付属品	ケーブル、説明書、包装	X	0	0	0	0	0

本表は SJ/T 11364 の規定に基づいて編纂されています。

0: この有害物質が部品に使用されたすべての均質材料中の含有率が GB/T 26572 の規定の制限値以下です。

X: この有害物質が少なくとも部品の均質材料中の含有率が GB/T 26572 の規定の制限値を超えています。



中華人民共和国の国内で販売される電子電気製品には「環境使用期」(EUP)の記号が印刷されています。
円形記号中の数字は製品の正常な環境使用年数を表しています。



ハーマン・インターナショナル株式会社 (HARMAN International, Incorporated)
8500 Balboa Boulevard, Northridge, CA 91329 USA

© 2016 HARMAN International, Incorporated (ハーマン・インターナショナル株式会社)。無断複製・転載を禁じます。

Revel (レベル) および Revel ロゴは、ハーマン・インターナショナル株式会社 (HARMAN International, Incorporated) の登録商標で、米国およびその他の国々で登録されています。

特徴、仕様および外観は、予告なしに変更されることがあります。

弊社製品に関する質問、サポート、または追加情報については次の番号にお電話ください: (516) 594-0300 or (888) 691-4171。
テクニカルサポートについては、問い合わせの詳細を送信してください

CE パート No. 950-0546-001



www.revelspeakers.com